

わっか

鳥取市中心市街地エリア情報誌
vol.2 2011
Winter



まちなかを応援する情報誌 WAKKA

02 まちの創造人
鳥の劇場 中島諒人さん

03 がんばる商店街
鳥取本通商店街/すぺーすコモド

04 シリーズ挑戦
鳥取市中心市街地活性化協議会

06 鳥取市の空き店舗対策はこんなふうに行っています
空き店舗対策事業補助金制度

07 まちの「わっか」
民藝館通りでつながる「わっか」

08 「まち」のおたよりイベントカレンダー

撮影場所/チャレンジショップ・ピギン1号館

左から「庭の森の森」小林さん、「たくみ工芸店」岡井さん、「cafe bird-nest」横山さん、「ギャラリーそら」安井さんです。

event schedule 2月~3月

平成23年1月10日現在 ※下記の内容は、主催者側の都合で変更や中止になる場合があります。

2月10日(木)~13日(日)
▶第2回春のまちなか公民館作品展
▶パレットとっとり市民交流ホール
主催:鳥取商工会議所 ほか

2月19日(土)
▶新町ふれあい市
▶新町通り
主催:ふれあい市実行委員会

2月19日(土)
▶まちなかシンポジウム
▶パレットとっとり市民交流ホール
主催:鳥取市中心市街地活性化協議会

2月20日(日)
▶第1回鳥取まちなか落語会~桂米二の会~
▶パレットとっとり市民交流ホール
主催:鳥取ふるさとUI会落語会実行委員会

3月10日(木)~13日(日)
▶市民交流ホールスペシャルコラボ展VOL.2
▶パレットとっとり市民交流ホール
主催:鳥取商工会議所 ほか

3月18日(金)~20日(日)
▶トトリデハッターリ~全国アートNPOフォーラムin鳥取~
▶ギャラリーそら ほか 中心市街地各会場
主催:全国アートNPOフォーラムin鳥取実行委員会

3月19日(土)
▶新町ふれあい市
▶新町通り
主催:ふれあい市実行委員会

3月20日(日)
▶まちなか名画劇場~山田洋次監督作品「家族」~
▶パレットとっとり市民交流ホール
主催:とっとりフィルムコミッション

3月26日(土)~30日(水)
▶五臓圃ビルオープンニングイベント
▶五臓圃ビル
主催:まちづくり株式会社いちろく

3月26日(土)27日(日)
▶本通へおいでよ! 2011鳥取B級グルメ横丁
▶パレットとっとり
主催:鳥取本通商店街振興組合

3月27日(日)
▶いなばのお袋市
▶駅前サンロード
主催:新鳥取駅前地区商店街振興組合



このコーナーでは、まちなかのイベントを中心に情報提供を行っています。掲載希望の方は①イベント名②日時③会場④内容、アピールポイント⑤主催者⑥対象者を中心市街地活性化協議会までメールでご連絡ください。(info@tottori-machinaka.com 担当:霜村)チラシ、HPもありませんでしたら添付してください。中活協のホームページでも公開いたします。

event pick up !!

トトリデハッターリ~全国アートNPOフォーラムin鳥取~主旨(一部)



私が子どもの頃、中心市街地は「まち」と呼ばれていました。郊外の田んぼを埋めた住宅地に暮らしていた私には、「まち」に出ることはとてもワクワクすることでした。「まち」には多くの人っていて、キラキラしていました。「まち」はこの地域の中心であり、心のよりどころでした。

グローバル化は、世界を経済性や効率を優先する一つの価値観に向かって統合していく流れです。「まち」が元気をなくすことは、それぞれの地域の中で何を大切と考えるかについての基本的な考えの、歴史的に積み上げられた独自性をなくすこととイコールのように思えます。一つの巨大な中心ではなく、小さい中心がたくさんある世界の方が、人にとって幸福なはずで、「まち」はそのためになくてはならないものです。

今回のフォーラムでは、さまざまなアートNPOによるワークショップを「まち」の中で行います。一般市民の方にご参加いただけたらと思っています。



NPO法人 鳥の劇場 代表:中島諒人

3月18日(金)
▶鳥取まちなかさんぽ/中心市街地各所
▶レクチャー/ギャラリーそら ほか
▶オプションツアー/鳥取砂丘

3月19日(土)
▶公共空間ワークショップ・かえっこバザール/ギャラリーそら
▶ご近所映画クラブ/川端銀座空き店舗
▶展示「あしたの地図よ」/旧横田医院
▶夕暮れトーク「まち遊び、まち暮らし」/ギャラリーそら
▶ほろ酔いトーク「ユースセッション(仮)」/カフェソース

3月20日(日)
▶フォーラムディスカッション/鳥の劇場(鹿野町)

問い合わせ先 全国アートNPOフォーラムin鳥取 現地事務所
TEL/FAX 0857-84-3268 E-mail info@birdtheatre.org

3月26日(土) 五臓圃ビルがリニューアルオープンします!



五臓圃ビルは、昭和6年に建築され、鳥取大震災、鳥取大火を耐え抜いた市内最古の鉄筋コンクリート建造物です。この貴重な「昭和の生き証人」である五臓圃ビルが80年の時を経て、まちなかの活性化拠点としてオープンします。

- ▶竹田姉妹コンサート
- ▶遷喬小学校児童絵画展
- ▶五臓圃ビルライトアップほか

編集雑感

仕事でまちなかに関わるようになって、もうすぐ1年が経ちます。まちで暮らす人、まちのために働く人、多くの出会いのなかで、歴史のあるものと新しいものが共存するまちなかの魅力をたくさん発見しました。夏は土曜夜市やしゃんしゃん祭りに出かけ、秋は久松山の紅葉を見ながら図書館へ通い、冬は快適なアーケードを歩いて喫茶店であつたまる…。行事やイベントはもちろん、休みの日にふらりと出かけてみれば、商店街に、路地裏に、まちなかの新しい魅力がきっと発見できます。

わくわくできるものがギュッと詰まったまちなか。一人でのんびり、友達とにぎやかに、まちなか散歩してみませんか?袋川の桜がきれいな春は、もうすぐそこです!!



読者プレゼント

明日葉(あしたば)作業所製作の「トートバッグ」を1名様にプレゼントします。ハガキに①住所②氏名③年齢④「わっか」を読まれた感想をご記入の上、〒680-8566 鳥取市本町3丁目201番地 鳥取市中心市街地活性化協議会 わっか読者プレゼント係までお送りください。当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(応募締切:平成23年3月1日当日消印有効/提供:鳥取商店街連合会)



すべす コモド
Comodo
社団法人地域サポートネットワーク運営



★**託児サービス**
30分300円/1人 長時間割引あり
★**子ども教室・親子教室**
体操・音楽・英語など
★**広場遊び利用**：1家族300円(2時間)
2人目からはプラス50円



★**カフェスペース**
近所のお店から
出前できます!



★**授乳室**
商店街利用者も
利用できます!



★**こだわりの
トイレ!**

★**子育て用品、
手作り品販売**

「まちなかを親子連れがたくさん歩いている、それが私の夢だったんです。」と山口朝子さん。元気な笑顔で語る彼女自身の魅力もあって、オープンからわずか数ヶ月で、商店街にはベビーカーが列をなすようになった。利用者からは、「車で通り過ぎていただけの道にたくさん発見がある」「小売店の良さが分かった」など嬉しい声が飛び交い、駐車場から離れていることもメリットに変わった。

“comodo”はイタリア語で「快適な、居心地の良い」の意味。幅広い年齢の方に利用してほしいから“子ども”だけじゃない、“コモド”なのである。親、子ども、お年寄り、たくさんの方が「すべすコモド」を通じて、やさしい心を育む場所であってほしい...というスタッフの願いが込められている。子どもや親子向けはもちろん、英語教室など、大人向けの教室やイベントも開催。comodoには希望と笑顔の仕掛けがいっぱい詰まっている。

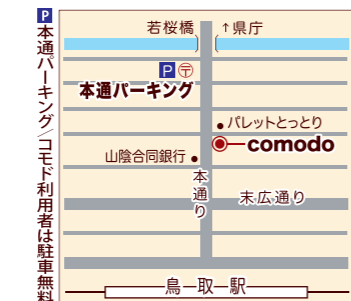
▶ **問い合わせ**
社団法人 地域サポートネットワークとっとり
〒680-0833 鳥取市末広温泉町 132
TEL 0857-29-6101 FAX 0857-50-0324

「親子でくつろげる空間をまちなかにつくりたい」「幅広い年齢層に商店街の良さを再認識してほしい」そんな商店街の思いが行政からの支援をうけて「カタチ」となりました。



鳥取本通商店街振興組合 理事長 藤本 茂さん

「親子連れが歩いていたら声をかけあう、そんな明るくやさしい「まち」であってほしい。親子で手を繋いで「まち」を歩いたこと、子どもたちが大きくなったとき、商店街があたたかい思い出の場であってほしい。そんな願いとともに、「すべすコモド」もすくすく成長します。



パパ、ママ、子どもたちに「まち」を歩いてほしい。そんな願いから、本通商店街に親子の憩いの場が誕生!

seeds
まちの創造人
PICK UP

アートには社会を動かす力がある。
「まち」は地域と人の中心であり、売り買いだけの場所ではない。
キラキラしてワクワクする人があふれる「まち」の種さかし
アートな視線で「まち」と出会い直そう!

アーティストリゾット鳥取の先駆けとして活動するNPO法人 鳥の劇場 主宰の中島さん。3月には全国アートNPOフォーラム in 鳥取を企画し、まちづくりのきっかけを市民に提供する。



『フォーラム』とは、みんなが集まる広場。市民生活の中心を意味します。今、世界的に小さな市町村のコミュニティは消え、合理化された一つの巨大な中心へと統合される一途をたどっています。人が長い歴史の中で、築き守り続けてきた「まち」の役割を、『アートを学ぶ場』という新しい形で再構築したい。トトリリデハツタリは未来のまちへ向かったアートワークショップです。



リモデルトトリII「まちで遊ぶ、演劇で遊ぶ。～まちの再発見!」
2008年7月5日(土) 会場：サンロード(写真/鳥の劇場提供)

中島 諒人 なかしま・まこと (NPO法人 鳥の劇場 主宰)

1966年生まれ。鳥取市生まれ。鳥取東高校卒業。大学在学中より演劇活動を開始、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取で廃校を劇場に変え、「鳥の劇場」をスタート。代表作「老貴婦人の訪問」(デュレンマット)、「剣を鍛える話」(魯迅)、「母アンナの子連れ従軍記」(プレビト)など。2003年利賀演劇コンクール最優秀演出家賞受賞。2006年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

人々の生活の一部にアートがあり、まちには絶えず刺激があふれる「アーティストリゾット」をめざすうえで、鳥取の規模の小ささはなによりも魅力で武器となります。「まちづくり」は市民一人ひとりによって成されるもの。受け身のイベントではなく、自発的に考える作業が必要なワークショップで、人々に『考える』きっかけを提供したい。自分の未来の事として、みんなに関わって欲しいのです。

夕方になると、人々が広場に集い、顔に見える環境で酒を片手に賑やかに意見を交わす。そんな場があちこちに点在すれば、まちはワクワクと下キドキであふれ、キラキラ輝くことでしょう。それはいきいきとした顔の「ひと」によって築かれます。

▶「考える」を楽しく提案!

まちなかアートワークショップ
トトリリデハツタリ
全国アートNPOフォーラム in 鳥取
3月18日(金)～20日(日)
中心市街地各所にて開催

中心市街地活性化協議会は、まちなかを元気にする仕掛人です。

「まちなか」を元気にしたい！中活協（鳥取市中心市街地活性化協議会）のキーマンから皆様へ

最近、「まちなか」がナンダカ、オモシロイ!! ——— 中活協がかかっているおもな事業

「素材」を生かせば、中心市街地はもっとおいしくなります。

鳥取市中心市街地活性化協議会 会長
鳥取商工会議所会頭 清水 昭允（しみず てるみつ）

はじめまして。平成22年12月より鳥取市中心市街地活性化協議会会長に就任いたしました清水昭允です。どうぞよろしくお願いいたします。

歴史・文化・芸術・自然・緑。多くの知識や技を持った商人・職人さん。街を盛り上げようとがんばる元気な人々。鳥取のまちなかには、まだまだ多くの素晴らしい「素材」があります。しかし、残念なことに、これらが上手に活かされていないように感じています。

鳥取の中心市街地が「明るく元気にぎやかな街」として再生していくためには、「まちなかを元気にしたい」との思いを持つ市民のみならず、行政、そし

て私たち中活協が三身一体となって取り組みを進める必要があります。

「まちづくり」をカレーライスに例えてみましょう。①地域を愛する「市民」が料理したい「素材」を持ち寄る。②職人・商人・地域住民・行政の知恵と技で材料を炒め、じっくりと煮込む。③仕上げに「熱意」「実行力」の入ったカレールーを加える。「中活協」は、カレールーの下に隠れた「ごはん」として、みなさんをしっかり支える役割といったところです。

私もみなさんと一緒に「中心市街地の再生」に挑みます。中心市街地には「活」を、自身には「喝」を入れながら、がんばります。

**中心市街地の活性化は必要なの…？
まずはそんなところからお話してみましょう。**

鳥取市中心市街地活性化協議会 事務局長
タウンマネージャー／熱田 龍二（あつた りゅうじ）

中心市街地の活性化は必要なの？

よくそんな声を聞きます。車があるから大丈夫。郊外の大店があればいい。でも、10年、20年たった時、いつかは車が運転できなくなる時が来ます。その時に、近くにお店がなかったら。バスが走っていなかったら。たちまち、生活に困ってしまいます。

鳥取市全体に投資をして、すべての家の近くにお店があればいいけれど、それではお金がいくらあってもたまりません。バスなど公共機関で行くことができ、コンパクトにお店が並んでいれば、車がなくても歩いて暮らせる街になります。

鳥取市中心市街地活性化協議会は、

10年、20年先を見すえて、新しい店主を育てたり、開業の支援をしたり、イベントの手助けをしたり、街が賑やかになることならなんでも相談に乗っています。

このようなご時世だから芽が出にくいけれども、このようなご時世だからこそ新しい種をまき、新しい街をつくっていくことが必要と考えています。

まちなかにも個性的で魅力的なお店がたくさん並んでいます。皆さんの手でこの街をよくしていきませんか？中心市街地活性化協議会が皆さんのやる気をサポートします。

鳥取市中心市街地活性化協議会のおもなおしごと

鳥取市中心市街地に関する情報収集と発信

- 情報誌わか ●ホームページ
- まちなかシンポジウムほか

中心市街地に関する調査、データ化、施策づくり

- 空き店舗 ●空き家 ●空き地 ●駐車場など

中心市街地活性化事業に対する支援（左ページ参照）

- 五臓圓ビル再生事業支援
- 駅前アーケード改修事業支援

空き店舗活用に対する支援

- 出店相談 ●経営支援
- 助成金制度紹介など

チャレンジショップ（新規創業）に対する支援

- 経営相談 ●勉強会
- 独立開業の事業計画・財務指導

中心市街地でのイベント開催に対する支援

- 助成金申請相談
- イベント開催支援

おもな支援

- 大型空き店舗入居促進補助金 補助率3/4 限度額300万円
- 空き店舗対策事業補助金 補助率2/3 限度額50万円
- 商店街イベント開催支援事業補助金 補助率4/5 限度額80万円
- 中心市街地活性化イベント開催支援事業補助金 補助率2/3 限度額40万円

中活協（鳥取市中心市街地活性化協議会）は、活性化事業の推進やイベント支援など、まちなかの賑わいにつながる各種事業をサポートしています。最近のまちなかの動きの中から、中活協がかかっているおもなものをご紹介します。

まちなかイベント支援
（写真は因幡の手づくりまつり）

五臓圓ビル再生事業支援

チャレンジショップ新規出店者への経営支援

商店街イベント支援
（写真はごちそうマルシェ）

駅前通りアーケード改修事業支援

市民交流ホールの運営及びホールイベント企画

久松山 久松公園 鳥取城跡 仁風閣 西高 鳥取県庁 鳥取敬愛高 鳥取県立図書館 鳥取県立公文書館 鳥取市役所 市民会館 高砂屋 梅路公園 やまびこ館 橋路公園 久松橋 鳥取市文化ホール 鳥取中央郵便局 鳥取生協病院 日進小 鳥取大丸 鳥取民芸美術館 鳥取産業体育館 県民ふれあい会館 中央図書館 駅南庁舎 さざんか会館 さわやか会館 美保橋 新築川 53 山崎川 南大橋

まちなかに独立開業するなら、 空き店舗対策事業補助金制度

鳥取市は、中心市街地の空き店舗を活用し、新規出店をめざす方に対する支援として、店舗の家賃、改装費、広告宣伝費の一部を補助する「空き店舗対策事業補助金制度」を設けています。今回は、この制度を活用し、中心市街地に開業したお店を紹介いたします。

● 問い合わせ先 — 鳥取市経済戦略課商業振興係 TEL 0857(2)3222

ナチュラルケアサロン
Shinyou(シニュー)
井上 都代さん

開業までのいきさつは…

大阪や長野で会社勤めをしていた頃、毎日仕事で忙しくしており、疲れをとりたくてリラクゼーションサロンに通っていました。でも、なかなか満足できるサロンがなく、それなら納得がいく本場に「身体と心が癒されるサロン」を自分でつくろうと思い、リラクゼーションの道に進みました。



開業までのいきさつは…
大抵や長野で会社勤めをしていた頃、毎日仕事で忙しくしており、疲れをとりたくてリラクゼーションサロンに通っていました。でも、なかなか満足できるサロンがなく、それなら納得がいく本場に「身体と心が癒されるサロン」を自分でつくろうと思い、リラクゼーションの道に進みました。

● 今後の展開は…

私のお店は「お客様ひとり一人を大切にしたい、いかな対応」がモットーです。今後もお客様とのコミュニケーションを大切にしながら「女性の結婚・出産・育児」というライフスタイルに密着したサービスが提供できるサロンをめざしていきます。



ます。

また、子育て支援センターでのベビーマッサージ出張や、子宝メンタルケア交流会のような気軽に参加してもらえそうなイベントを開催して、新たなお客様との関係もつくっていきたくです。自分自身が子育ての真ったた中なので、お客様の視点や体験も共有しながら、一緒に歩んでいきたいと思っています。

SHOP DATA

- 住所 鳥取市瓦町4-1-8
- 営業 10時～17時 最終受付16時
- 定休 火曜日
- 電話 0857・29・5122

癒しの雑貨とカラーセラピーの店
message(メッセージ)
石谷 真実さん

開業までのいきさつは…

オーソーマカラーセラピー(上下2層に分かれたボトルを使ったカラーセラピー)を通して、人の心が安らぐお手伝いをしたいと思って、太平線交差点角のチャレンジショップ1号館に出店しました。



● 今後の展開は…

今では何度も来てくださるお客様も増えてきました。「セッションカラーセラピー」など、お客様の声がかきかけで生まれました。ニューもありです。お客様からいただいた要望は大切に拾い上げ、それを形にして提案していきたいと思っています。



また、一昨年に「パステルなごみアート展示会」をお客様と一緒に開催。ほかにも癒しをテーマとしたイベントを開催し、好評でした。今後もセラピーやアートなど癒しのツールを提案しながら、人とのつながりを生かした「癒しの発信基地」となることをめざしていきたいと考えています。

SHOP DATA

- 住所 鳥取市弥生町2-2-4
- 営業 11時～19時30分
- 定休 水曜日
- 電話 0857・26・2660



WAKKA 「まち」の「わっか」 表紙写真/チャレンジショップ・ビギン1号館と民藝館通り文化村商店会のわっか

「おはよう」「寒いね」「昨日は忙しかったわー」…毎日、顔を見ると交わす気さくな言葉。通りで商いを営むもの同士、小さな会話が大きな支えとなる。

民藝館通り文化村商店会は、鳥取の宝である鳥取民藝美術館を中心に、境界の活性化を図ろうとする市民グループ。ギャラリー、宝飾店、ファッションショップ、雑貨の店、みやげ屋など

の店に加え、現チャレンジショップ2店と卒業生2店も参加している。

民藝美術館の盛り上げイベントや各店の持ち味を活かした民藝との展示コラボを企画したり、境界の一齐清掃や元旦初売り、さらには、まちなかマップづくりに取り組んだり…日常会話だけのご近所付き合いにとどまらず、年齢や業種を超えて協力し合う新しい風を感じる。

チャレンジショップを受け入れ、「ご近所」という共通点でスッと結ばれる笑顔と力。店もオーナーも個性に溢れ、「人の魅力」でお互いを引き寄せ合い、楽しんでいる強さがある。

県外の方にも人気のこのエリア。訪れた人は「ほっ」とする居心地の良さに、ふんわりとした人のつながりを感じるはず。その「ふんわり」と「わっか」が「まち」の空気をつくっている。

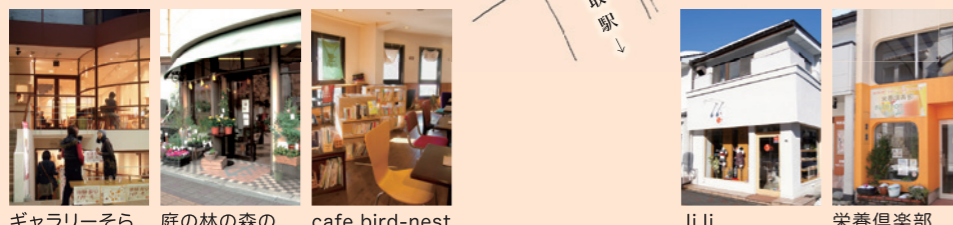


庭の林の森の ビギン1号館1F
四季を繊細に感じられる緑のある暮らしのための店。植木、苗、鉢をはじめ、かわいい雑貨も扱う。
● 10:30-19:00/火曜定休 (冬期)土日祝 10:30-18:00

cafe bird-nest ビギン1号館2F
「ひとりでゆっくり読書できる空間」をテーマにさまざまな本が並ぶカフェ。やさしい雰囲気の内にはつい長居したくなる。
● 10:30-18:30/水曜定休 土日祝 9:00-18:00



鳥取民藝美術館
鳥取の誇る民芸運動家「吉田璋也」により開設。全国の愛好家が集う文化スポット。器、和紙、染織、玩具、木工品、家具、陶磁器など使って味わう「用の美」の名品が並ぶ。
● 10:00-17:00/水曜定休



チャレンジショップ制度とは… 現在チャレンジショップは、ビギン1号館から4号館の4館で実施中です!

新規出店をめざすチャレンジャーを支援する制度で、鳥取の中心市街地を元気にしようと、平成12年にスタート。この制度を利用したチャレンジャー(卒業生)の69%が独立・開業しています。

- 支援制度により家賃が安価、開業にかかる費用が抑えられます
- 専門家の派遣による経営指導や勉強会などの支援が受けられます
- 他のチャレンジショップ出店者と情報交換や交流ができます

問い合わせ先 鳥取商工会議所・鳥取市中心市街地活性化協議会 〒680-8566 鳥取市本町3丁目201番地
TEL 0857-39-0777 FAX 0857-39-1222 ホームページhttp://www.tottori-machinaka.com/